

1 子どもの権利推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育むため、特色ある教育活動等のより一層の推進を図る。

事業概要	内容	児童虐待やいじめ問題など、子どもを取り巻く課題が深刻化する中、区は、子どもの権利を保障するため、子どもの権利に関する普及・啓発を行うとともに、相談窓口を設置し、その周知に努めています。 また、令和5年4月1日に施行される「こども基本法」においては、子どもに関する施策の推進にあたり、全ての子どもについて、自己に直接関係する事項に関して意見を表明する機会と多様な社会活動に参画する機会を確保することを定めています。 そこで令和5年度は、子どもの声をしっかりと受け止め、子どもたちにとってより良い区政を実現していくため、区政情報の提供、子どもの意見を聴取する機会や仕組みについて、最も効果的な手段・方法を検討していきます。	

事業費	予算現額	決算額	執行率
	5,803,000円	3,363,140円	58.0%

事業実績	○令和5年度実績 子どもの権利についての説明や子どもたちが抱える色々な悩みを相談できる区等の相談窓口について、イラスト・漫画を用いて紹介した「子どもの権利に関するリーフレット（小学生向け・中学生以上向け）」を区立小・中学校及び中等教育学校の全児童・生徒に配付し、授業での活用等を通して、子どもの権利の普及・啓発を行いました。 また、子どもの意見表明機会の確保・子どもの意見聴取の様々な方法を調査・検討しました。 ※子どもの意見表明機会の確保・子どもの意見聴取方法検討支援業務委託の契約差金等により、執行率が低くなりました。		

令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法としてこども基本法が施行（令和5年4月）され、子どもの権利の推進はますます必要となっています。そのため、国や都では様々なガイドライン等が作成される中、国や都の動向を踏まえつつ、区にとってより良い子どもの権利の推進ができるよう、子どもに加え大人にも普及・啓発等に取り組む必要があります。特に、こども施策の策定・実施・評価等を行う職員に対しては、当該施策に子ども・若者の意見を反映する措置を講ずることが義務付けられていることやその意義の理解を促す必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、リーフレット等を用いた普及・啓発を行いつつ、職員向けの研修を実施するなど、様々な観点から子どもの権利の推進を図ります。		

所管課	子ども部 子ども総務課 （教育政策担当課長）	決算参考書	142頁	R5予算の概要	45頁
-----	---------------------------	-------	------	---------	-----

2 和泉小学校・いずみこども園等施設整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築36年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者の動線が混在するなど安全管理上の課題を抱えていることから、建替えに向け整備を進めています。 令和5年度は、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けた調整を行い、基本設計の準備を進めていきます。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	13,515,000円	11,000,000円		81.4%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 施設整備の考え方の整理 施設整備についての基本構想素案（たたき台）を作成するとともに、地域の要望等を整理するため、学校・こども園関係者との懇談会において意見を聞き、整備の基本的な考え方等を整理しました。 (2) 和泉公園との一体的な整備の検討 現施設と隣接する和泉公園との換地による建替えを行う場合の課題や、法適合性の検討等を行いました。 (3) 学校用地の測量 設計に向けた基礎資料を作成するため、学校用地を測量しました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	和泉公園との一体的な整備にあたっては、公園も含めた将来の姿を地域と共有したうえで、手続きを進めていくことが必要です。 令和6年度は、地域の意見を聞きながら、施設・公園の将来構想を策定します。また、和泉公園の都市計画の変更に向けた手続きや施設・公園整備についての基本計画の策定に向けた検討を行います。 令和7年度は、引き続き、都市計画手続きを進めるとともに基本計画（案）を策定し、新たな施設・公園の基本設計に向けた準備を行います。			

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	142頁	R5予算の概要	46頁
-----------------	-------	------	---------	-----

3 今後の教育のあり方検討【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取り組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	区は、児童・生徒数の変動への柔軟な対応や、新しい時代の学び・体力づくりのための環境整備に向け、令和3年度から検討・協議を重ねてきました。 令和5年度は、令和4年度に策定した今後の学校等のあり方に関する基本構想を基に、地域特性等も踏まえ、より良い教育環境の整備に向けた調査を実施します。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	7,590,000円	5,445,000円	71.7%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 教育関係施設等の移転に向けた候補地調査 今後の学校等のあり方に関する基本構想を基に、児童・生徒数の変動への柔軟な対応や、新しい時代の学び・体力づくりのための環境整備をめざし、地域特性等も踏まえた、より良い教育環境の実現に向けて、民間施設も含めた教育関係施設等の移転候補地調査を実施しました。 (2) 「企業等との連携先紹介プログラム」の策定 子どもたちの学びの質の向上や教職員の負担軽減等を目的として、企業等による出前授業や職場見学先を学校が的確・効率的に選ぶことができるように、各区立学校の校長にヒアリングを実施し、学校と連携の意思のある企業等を紹介した「企業等との連携先紹介プログラム」を取りまとめました。		
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	企業や大学等が高度に集積する本区の特徴・強みを生かし、企業等との連携・協働により子どもたちの主体性や創造力を育むための実践的な学びの機会を創出するため、学校と企業等がより効果的・効率的に連携できるようにしていく必要があります。 令和6年度は、令和5年度に引き続き、学校と企業等をつなぐスキーム構築を行うとともに、企業等が提供するプログラムをより学校側が利用したくなるようなものとするため、企業等向けのガイドラインの検討や学校と企業等のマッチングを行う協働主体のあり方の検討等を進めます。 令和7年度は、子どもの健やかな育ちをまち全体で支援する観点から、令和6年度に構築した連携スキームを推進し、企業等との連携をさらに進めます。		

所管課 子ども部 子ども総務課 (教育政策担当課長)	決算参考書	144頁 R5予算の概要	46頁
-------------------------------	-------	--------------	-----

4 軽井沢少年自然の家のあり方検討【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）			
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。			
事業概要	内容	区は、校外学習の場として活用していた軽井沢少年自然の家の利活用について、時代の変化に柔軟に対応した取組みや自然環境を生かした体験学習を実現するための拠点づくりをめざし、令和3年度から検討・協議を重ねてきました。 令和5年度は、令和4年度に策定した軽井沢少年自然の家のあり方に関する基本構想を基に、施設の整備・運営方法等を決定し、施設整備に向けた準備を進めていきます。	
事業費	予算現額		決算額
	21,020,000円		18,942,361円
執行率			
90.1%			
事業実績	○令和5年度実績 (1) 施設計画の検討 区内児童館で行った小学生向けワークショップや区立中学校・中等教育学校（前期課程）の生徒会サミットを利用して児童・生徒に施設の改善点等の意見を募りました。加えて、学校利用時期以外の利用者のニーズを把握するため、区内在勤・在学者向けのアンケートも実施し、多様な利用者のニーズを反映した施設計画を検討しました。 また、運営方法についても、建築や管理運営を行う様々な企業にシーズ※調査を実施し、当該施設を運営するにあたって適正な体制の構築を検討しました。 ※シーズ：企業サイドが顧客に提供できる、商品の価値や強み (2) 事業手法・事業経費の検討 施設整備やその後の管理運営にあたっては、施設として、より良いサービス提供と財政負担の軽減が必要であることから、民間の活力を活用した手法を含めた事業手法を検討し、事業経費等を比較しました。		
	民間の活力を活用した整備手法や、学校利用時期以外の利活用方法など様々な視点で検討しましたが、新たに軽井沢少年自然の家を整備・運営するには、多大な事業コストが必要なが分かりました。そのため、教育委員会では軽井沢少年自然の家を整備しないこととし、令和5年度で事業を完了しました。 今後は、全庁的な区有財産の管理・活用の議論の中で、当該用地の新たな利活用を検討します。		
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題			
所管課	子ども部 子ども総務課 （教育政策担当課長）	決算参考書	144頁 R5予算の概要 46頁

5 番町小学校・幼稚園整備計画の基礎調査【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	築50年以上が経過している番町小学校・幼稚園については、老朽化が進んだ校舎の機能更新にあたり、良好な教育環境の確保に加え、防災拠点や地域コミュニティの核としての役割も踏まえ、効果的かつ効率的に整備を進める必要があります。 令和5年度は、現況把握等の基礎調査を実施します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	5,500,000円	4,290,000円		78.0%
事業実績	○令和5年度実績 番町小学校・幼稚園の整備に向けて、基礎調査を実施しました。 (1) 調査期間 令和5年4月～令和6年3月 (2) 調査内容 ①関係者へのヒアリング 番町小学校・幼稚園、アフタースクールへのヒアリングを実施し、新たな施設に求められる機能等について検討しました。 ②関係法令等の整理 番町小学校・幼稚園の機能更新にあたり、関連する法令等や必要な申請・届出について整理しました。 (3) 機能更新方法の検討 機能更新にあたり考えられる方法について、学校を取り巻く現況を整理したうえで検討しました。			
令和6年度実績 令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 番町小学校・幼稚園の整備にあたっては、少人数指導やグループ学習など多様な学習形態への対応といった良好な教育環境の整備や、防災拠点や地域コミュニティの核としての役割について検討が必要です。 令和6年度は、令和5年度に引き続き、現況調査を実施するとともに、施設整備に伴う影響や条件の整理、機能更新方法について検討した事項の深度化を図ります。 令和7年度は、令和6年度の検討を踏まえ、基本構想の策定に向けた検討を進めます。			

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	144頁	R5予算の概要 47頁
-----------------	-------	------	-------------

6 富士見みらい館次期管理運営準備【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	富士見みらい館は、令和6年度末をもってP F I事業者との契約期間の満了を迎えることから、P F Iによる整備手法及びこれまでの維持管理について検証を行い、契約期間満了後の管理運営方法等を検討するための調査・研究を実施しています。 令和5年度は、次期手法による管理運営への移行準備を行います。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	18,000,000円	16,126,000円	89.6%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 維持管理・運営方法の検討 施設・設備の維持管理、児童健全育成機能、給食、地域開放といったそれぞれの機能・業務に適した管理運営方法を調査・研究し、令和7年度からはP F I方式ではなく主に業務委託により管理運営を行っていくことについて検討しました。 (2) 引継ぎ委員会の設置 P F I事業終了後も富士見みらい館の維持管理・運営を適切に実施することを目的として、引継ぎ委員会を設置しました。同委員会において、P F I事業者が実施している維持管理・運営事業を区へ引き継ぐ際の方法について検討しました。 (3) 劣化診断結果等の妥当性調査 P F I事業者が実施した劣化診断について、その妥当性を判断するため、第三者による劣化診断結果等の妥当性調査を実施しました。		
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	本事業は、P F I事業者との契約期間満了後の管理運営方法等の検討に向けた調査・研究のため、令和5年度で完了しました。 今後は、P F I事業者から区への引継作業を実施し、令和7年度から主に業務委託による維持管理・運営を行うための準備を進めていきます。		

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	144頁	R5予算の概要 47頁
-----------------	-------	------	-------------

7 施設保守管理・整備改修等技術的支援体制の構築【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	教育・児童福祉施設においては、日常の施設管理が複雑多岐にわたるとともに、建物や設備の経年劣化による緊急対応が増加しています。	
		そこで、施設ごとに行っている保守管理業務の効率化を図るため、専門事業者による公共施設包括施設管理※の導入をめざし、令和5年度は、教育・児童福祉施設への導入による効果について、様々な側面から検証していきます。	
事業費		また、施設整備及び改修においては、整備計画を進める際の複雑さや難易度が高まっていることから、専門的知見を持つ事業者による支援体制を構築し、様々な課題への迅速な対応をめざします。	
		※公共施設包括施設管理：複数の公共施設における設備保守点検などの個別の施設保守管理業務をまとめて一つの事業者と契約することにより、業務の効率化や長期的な維持保全のマネジメントを図る手法	

事業費	予算現額	決算額	執行率
	21,870,000円	20,517,750円	93.8%

事業実績	○令和5年度実績		
	(1) 包括管理の導入検討 教育・児童福祉施設への包括管理の導入による効果について、民間事業者へのヒアリング・事業スキーム案の検討・事業効果の検証等様々な調査を行い、課題を整理しました。 (2) 施設整備改修等の技術的支援 支援事業者との定例的な打合せを通じた相談・連絡体制の下、新たな整備手法の検討や、校庭の暑熱対策塗装、学校トイレの洋式化、普通教室化といった改修の検討等において技術的支援を受けることにより、迅速な課題解決へとつなげました。 ①定例的な打合せ：13回 ②個別案件における技術的支援：9件		

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	
	包括管理を導入することで、各施設の管理水準の統一、事務作業の効率化、施設管理品質の向上等のメリットが確認されましたが、導入に向けては、コスト面や対象業務の仕分けなどさらに検討する事項が確認されたため、サウンディング型市場調査※を行いながら、募集条件等について精査していく必要があります。
	令和7年度は、令和6年度に引き続き、包括管理の導入にあたって必要な事項の検討を進めていきます。あわせて、施設整備及び改修の技術的支援を受けながら、迅速な課題解決を図ります。 ※サウンディング型市場調査：行政と事業者との意見交換等を通じて、市場性を踏まえた事業成立の確実性を高めるとともに事業に対する様々なアイデアや意見を把握する調査

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	144頁	R5予算の概要	48頁
-----------------	-------	------	---------	-----

8（仮称）旧和泉町ポンプ所跡地新施設整備関連事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	令和4年度に東京都から購入した旧和泉町ポンプ所跡地（神田和泉町1番地28（地番））について、子育て支援施設等を中心とした新たな施設を整備します。 令和5年度は、既存建物の解体工事を進めるとともに、新施設の建物機能及び整備手法の検討を行います。
事業費	予算現額 (1) 旧和泉町ポンプ所跡地の購入（解体工事） 28,800,000円 (2) （仮称）旧和泉町ポンプ所跡地新施設の整備 40,162,000円	決算額 23,153,200円 112,243円 執行率 80.4% 0.3%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 解体工事（政策経営部で計上） 令和5年9月に完了しました。 (2) 新施設の建物機能及び整備手法の検討 旧和泉町ポンプ所跡地の新施設は、和泉小学校・いずみこども園等施設整備における機能の精査と併せて検討することとしました。 ※（仮称）旧和泉町ポンプ所跡地新施設の整備については、単独での検討を行わないこととなったことに伴い、解体工事後の旧和泉町ポンプ所跡地の維持管理のみを行ったため、執行率が低くなりました。	
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応 令和7年度予算への対応	旧和泉町ポンプ所跡地については、和泉小学校・いずみこども園等施設整備の動向及び地域の意見を踏まえながら活用内容を検討していく必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、当該施設整備における機能の精査と併せて、地域の意向も確認しながら、幅広く活用内容を調査・検討します。	
所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書 144、238頁	R5予算の概要 48頁

9 神田さくら館の施設一部移転【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様性を認めあうとともに、一人ひとりの状況に応じた保育・教育環境の整備と支援体制の充実を図る。

（関連する主な分野別計画：第2期障害児福祉計画（千代田区障害福祉プラン））

事業概要	内容	令和5年度に策定した今後の学校等のあり方基本構想における学校別児童数の推計から、神田さくら館にある千代田小学校は児童数が増加し、普通教室が不足することが見込まれています。 また、神田さくら館の7階に開設している教育研究所及び研究所に設置している適応指導教室（はくちょう教室）も、利用者の増加によってスペース不足が生じる等、教育環境の充実が課題になっています そこで、教育環境・不登校対策及び子育て支援の充実の観点から、近隣の民間ビルを賃借して、神田さくら館の施設を一部移転します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	284,788,000円	255,026,587円		89.5%
事業実績	○令和5年度実績 神田さくら館の近隣民間ビルであるPMO神田須田町（神田須田町一丁目4番地4（地番））に教育研究所、はくちょう教室及び児童・家庭支援センターの一部が移転しました。 はくちょう教室については、これまで小・中学生が同じ部屋で学習していましたが、それぞれの学習スペースを確保しました。また、個別学習室や軽運動ができるスペースも新たに設けました。 児童・家庭支援センターについても、保健所と合同のケース会議が行える会議室など、今後の児童福祉と母子保健のより緊密な支援に向けた環境整備を図りました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	一部機能の移転により、不登校児童・生徒支援を拡充し、児童福祉と母子保健の連携強化に向けた取組みを進めることができました。しかしながら、一部機能の移転は、新たな移転先が決まるまでの暫定的な措置です。今後は、教育研究所を含めた、児童福祉と母子保健の一体的な支援ができる総合的な児童・家庭支援センターについても検討していく必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、不登校対策及び子育て支援の充実を図るとともに、全庁的な区有財産の管理・活用の議論の中で、総合的な児童・家庭支援センターについて検討します。 なお、本事業は、一部機能の移転に伴い、令和5年度で完了しました。			

所管課 子ども部 子ども総務課（教育政策担当課長）、指導課、児童・家庭支援センター

決算参考書

144頁

R5予算の概要

-

10 部活動の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育むため、特色ある教育活動等のより一層の推進を図る。

事業概要	内容	部活動は、学校の教育計画に基づき、生徒の自主的、自発的な参加により教育活動の一環として実施しています。
		国は、少子化による部活動の存続危機や教員の働き方改革などを背景に、令和5年度から令和7年度までの改革推進期間において、休日の部活動について段階的な地域移行を図るよう提言を出しました。
		区は、これまでも、顧問の教員のほか、部活動指導員や外部指導者といった外部人材も活用して部活動を実施してきましたが、国の提言を踏まえ、今後のより良い部活動の実施・指導体制を検討するため、令和5年度は、一部の部活動において、外部委託による指導を平日も含めて試行的に実施します。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	42,236,000円	19,467,521円	46.1%

事業実績	○令和5年度実績		
	既存の枠組みである地域人材を中心とした部活動指導員、外部指導員の活用、教員による指導に加えて、部活動の外部委託による指導を行いました。		
		翹町中学校	神田一橋中学校
		九段中等教育学校	
	部活動の外部委託	5部活動 (ダンス、卓球、陸上、バレーボール、バドミントン)	7部活動 (家庭科、フットサル、バドミントン、硬式テニス、和太鼓、水泳、吹奏楽)
	外部指導者の活用	6部活動 (バスケットボール、バドミントン、ダンス、吹奏楽、茶道、華道)	4部活動 (水泳、吹奏楽、和太鼓、百人一首)
		6部活動 (水泳、サッカー(前期課程)、吹奏楽、茶道、合唱、ダンス)	
※部活動の外部委託業務の契約差金などにより、執行率が低くなりました。			

令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	本区における部活動地域移行としては、指導者を継続的に確保できる部活動においては地域人材を活用し、確保が難しい部活動においては外部委託を行い、ハイブリッド的に部活動地域移行を進めることで、平日も含めた部活動の実施・指導体制の充実、教員の働き方改革を実現していく必要があります。
		令和6年度は、試行実施を継続するとともに、中学校2校、中等教育学校1校で28部活動の外部委託を行い、外部指導者及び部活動指導員を適切に配置し、専門的な技術指導を行うことで、指導の質の向上及び教員の業務軽減・働き方改革を推進します。
		令和7年度は、引き続き試行実施を継続しながら、教職員、生徒、保護者等の関係者のニーズに応じた部活動の地域移行について周知・理解を促進し、本格導入に向けた検討を進めます。

所管課	子ども部 指導課、九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	146頁	R5予算の概要	49頁
-----	------------------------	-------	------	---------	-----

11 就学委員会・通級指導判定委員会、特別支援サポート【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様性を認めあうとともに、一人ひとりの状況に応じた保育・教育環境の整備と支援体制の充実を図る。

（関連する主な分野別計画：第2期障害児福祉計画（千代田区障害福祉プラン））

事業概要	内容	区は、特別に教育的支援が必要な児童等の就学に際し、保護者への情報提供や円滑な就学のための相談・支援の実施に加え、各種支援員等を配置するなどの対応を行っています。
		令和5年度は、区立の小・中学校、幼稚園等における特別支援教育の課題や、そのあり方の協議・検討の場として、学識経験者、医療・臨床発達等の専門家、学校関係者等で構成する会議体を新たに設置し、総合的なインクルーシブ教育の推進を図っていきます。 また、医療的ケア児が就学、転入することになった場合に看護師等を配置できるよう準備を進めます。

事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 就学委員会・通級指導判定委員会	2,819,000円	1,832,921円	65.0%
	(2) 特別支援サポート	122,479,000円	82,467,330円	67.3%

事業実績	○令和5年度実績		
	(1) 就学委員会・通級指導判定委員会		
		実施回数	対象数
	就学支援委員会	4回	60人
	通級による指導判定委員会	3回	指導開始44人 指導終了32人
	インクルーシブ教育推進委員会	4回	指導開始22人 指導終了4人
	(2) 特別支援サポート		
		特別支援教育支援員	
	こども園・幼稚園（長時間）	24人	
	幼稚園（短時間）	19人	
	小学校	40人	
※医療的ケア児の就学・転入がなかったため、看護師の配置はありませんでした。			

実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応	特別に教育的支援が必要な幼児・児童・生徒の就学等に際し、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みづくりが必要です。
	令和7年度は、令和6年度に引き続き、就学支援委員会、通級による指導判定委員会、インクルーシブ教育推進委員会の運営と特別支援教育支援員等の配置により、個別の教育的ニーズのある子どもたちに対し、的確な指導・支援を行っていきます。
	また、インクルーシブ教育推進委員会において関係機関相互の連携を強化・構築し、発達段階に応じた継続的かつ一元的な支援を行う体制づくりの検討を進めていきます。

所管課 子ども部 指導課	決算参考書	146頁	R5予算の概要	52頁
--------------	-------	------	---------	-----

12 学校運営サポート【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育むため、特色ある教育活動等のより一層の推進を図る。

事業概要	内容	区立の小・中学校、幼稚園は、教育活動が保護者や地域住民から十分理解され、かつ、学校運営に関して幅広く意見が寄せられるなど、学校・園が地域に根ざし、より発展していくための学校支援組織として「地域学校協働運営協議会（開かれた学校づくり）」を設置しています。 令和5年度は、「地域学校協働運営協議会」の委員のうち、学校と地域を結び、地域学校協働活動を中心となって連絡・調整、実施する「地域学校協働活動コーディネーター」を全校で展開し、地域や保護者に開かれ支えられる学校づくりの実現をより一層推進していきます。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	4,966,000円	2,580,362円		52.0%
事業実績	○令和5年度実績 （1）地域学校協働運営協議会（開かれた学校づくり） ①区立小学校での実施回数：延べ17回 ②区立中学校での実施回数：延べ7回 （2）地域学校協働活動コーディネーター配置 各区立小学校・中学校に配置し、授業等の教育活動の支援や補助、校外学習の引率補助などを行いました。 配置時間（1校あたり平均）：65.8時間 ※令和5年度に新たに地域学校協働活動コーディネーターを配置した学校については、学校支援の具体的な取組みの検討から始めたことに伴い、執行率が低くなりました。			
令和7年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	地域及び保護者に開かれ支えられる学校づくりを進めることで、千代田区子育て・教育ビジョンの基本理念である「子どもの健やかな育ちをまち全体で支援し、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす」地域社会の実現を図っていくことが重要です。そのため、令和5年度から全校展開した地域学校協働活動コーディネーターについては、学校間、コーディネーター間の情報共有等を通じて、コーディネーターと連携した教育活動をさらに推進していく必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、これまでのコーディネーター配置に加え、活動に参加する地域ボランティア等の参加促進を検討するとともに、地域学校協働活動コーディネーターの取組みを学校間で適宜共有しながら、地域学校協働活動の取組みの充実を図っていきます。			

13 学校給食【拡充・補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

事業概要	内容	小学校、中学校、中等教育学校（前期課程）において実施している学校給食は、学校給食法に基づき児童・生徒等の健康の増進及び食育を推進するために栄養バランスのとれた多様な食事を提供しており、学校給食を活用して、生きるための力、食文化など食に関する指導の充実を図っています。 令和5年度は、物価高騰への対応として、従前の給食1食あたり30円の補助に加え15円を増額して補助します。 また、令和5年11月から学校給食費を15円増額し、併せて全額補助とすることで、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、これまでと同様、栄養バランスに配慮した質の高い給食を提供していきます。				
事業費	予算現額		決算額	執行率		
	(1) 学校給食（小学校）		364,916,000円	343,087,777円	94.0%	
	(2) 学校給食（中学校）		101,831,000円	97,056,867円	95.3%	
	(3) 学校給食（中等教育学校）		40,596,000円	36,204,725円	89.2%	
事業実績	○令和5年度実績					
			対象者数※		1人1食あたり補助額	
					4月～10月	11月～3月
	小学校	低学年	1,110人	45円	295円	
		中学年	1,137人		320円	
		高学年	1,042人		345円	
	中学校		712人	390円		
	中等教育学校（前期課程）		473人			
	※対象者数は令和5年5月1日時点の人数です。					
	実績を踏まえた評価・課題 令和6年度 令和7年度予算への対応	これまでと同様の栄養バランスや量を保った質の高い学校給食の提供を継続することで、子どもたちの教育環境の充実を図っていくことが重要です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、子どもたちの教育環境の充実のために、質の高い給食の安定的な供給に努めるとともに、学校給食費の全額補助を継続します。また、国や東京都に対して地域格差が生じないように、全国的な学校給食費の無償化に向けた法改正や全額補助を要求していきます。				
所管課 子ども部 学務課		決算参考書 148、150、152頁		R5予算の概要 43頁		

14 お茶の水小学校・幼稚園の整備関連事業

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	お茶の水小学校・幼稚園は、老朽化が進んだ小学校校舎の機能更新を図るとともに、幼稚園仮園舎を校舎に取り込み、地域の防災拠点や地域コミュニティの核としての役割を踏まえ、令和5年度の竣工をめざして校舎の新築工事を継続しています。工事期間中は、引き続き、仮校舎までの送迎バスを運行するほか、学童擁護や見守り要員を配置して子どもたちの安全の確保に努めるとともに、電車通学する児童の保護者への通学定期券額の補助を行っていきます。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	185,627,000円	171,442,397円	92.4%
	(2) お茶の水小学校・幼稚園物品等移設	7,550,000円	6,570,740円	87.0%
	(3) お茶の水小学校・幼稚園の整備(工事費)	6,710,103,000円	6,485,837,000円	96.7%
	(4) お茶の水小学校・幼稚園の整備(工事監理委託料)	121,249,000円	112,017,400円	92.4%
	(5) お茶の水小学校・幼稚園の整備(事務費)	14,589,000円	10,082,690円	69.1%
	(6) お茶の水小学校・幼稚園の整備(落成式)	4,344,000円	3,019,068円	69.5%
	(7) お茶の水小学校・幼稚園の整備(初度調弁)	302,594,000円	250,941,897円	82.9%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 仮校舎運営 送迎バスの運行と併せて、通学路上に学童擁護員や見守り要員を配置し、徒歩で通学する児童の登下校時の安全確保を図るとともに、電車通学する児童の保護者には通学定期券額の補助を行いました。 (2) 物品等移設及び初度調弁 新校園舎への移転に向け、児童・園児がより施設を使いやすくなるよう学校・園と相談しながら、什器や教材をはじめ、各種必要物品の整備を行いました。 また、仮校舎で使用している物品・書類等を新校園舎へ移設しました。 (3) 新築工事及び落成を祝う会 令和6年1月に竣工し、3月16日に地域関係者などを招待し「落成を祝う会」や、誰でも参加可能な「施設見学会」を実施しました。			
令和6年度実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	本事業は、新校園舎が令和6年1月に竣工し、4月から供用開始となったため、令和5年度で完了しました。 今後は、児童・園児が安全にのびのびと活動できるよう、施設の管理・運営に努めていきます。			

15 子ども・子育て支援事業計画の策定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。
（関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画）

事業概要	内容	区は、保育所の待機児童ゼロ対策や小学生が放課後を過ごす場所の整備など、保育所、こども園、幼稚園、学童クラブの充実に加えて、母子保健、教育の充実を図るため、子ども・子育て支援法の規定に基づき「子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。 令和2年度からスタートした現行の計画が令和6年度に最終年度を迎えることから、令和5年度は、次期計画の策定に向けた基礎的データとするため、就学前児童及び小学生の保護者を対象として、生活実態や子育てサービスの利用状況、希望するサービス等のニーズ調査を行うとともに、全国の先進事例の調査研究を実施します。			
事業費	予算現額	決算額		執行率	
	30,328,000円	11,000,000円		36.3%	
事業実績	○令和5年度実績 (1) 人口推計 次期計画期間内のニーズ量を見積もるために、コーホート要因法による人口推計を行いました。その際、コロナ禍が今後の人口動態に影響を及ぼすと仮定し、7パターンのパラメータで推計しました。 (2) 子ども・子育て会議 ニーズ調査票の作成に係る意見聴取を行うため、子育て支援施策等に関する調査審議を行う機関である千代田区子ども・子育て会議を令和5年12月27日に開催しました。 (3) ニーズ調査 ①対象者数：5,311人 ②調査期間：令和6年1月29日～2月16日 ③回答方法：原則オンライン（専用ウェブサイト）による回答 ※個別に要望があった場合に限り、紙の調査票を郵送しました。 ④回収数：1,683件（回収率31.7%） (4) 先進事例の調査 区の施策の参考とするため、利用者支援事業や病児保育事業について、全国の自治体における先進事例を調査・整理しました。 ※千代田区子ども・子育て支援事業計画の策定に係る各種調査業務の契約差金により、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度取組状況への対応 令和7年度予算への対応	適切な子育て支援施策を実施するためには、令和5年度に実施したニーズ調査の結果を分析し、ニーズが反映された計画を策定する必要があります。 令和6年度は計画の策定に向け、ニーズ調査の結果を分析し、多様な子育て支援施策について需要と供給のバランスを整理します。そのうえで、それらのニーズに対応するために、子育て支援施策の充実や保育サービスを量から質により一層転換する取組みを検討し、計画を策定します。 令和7年度は策定された計画に基づき、各事業を実施していきます。				
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	154頁	R5予算の概要	43頁

16 子どもの遊び場確保の取組み【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

事業概要	内容	子どもの成長過程においては、外遊びが必要かつ重要であることから、区は、子どもが外でのびのびと遊ぶことができる環境づくりに努めています。 令和5年度は、子どもの遊び場推進会議や公園・児童遊園等整備方針の改定に伴うアンケートの結果を踏まえ、新たな遊び場を1か所以上確保することをめざし、子どもの外遊び環境の充実に取り組んでいきます。
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	91,083,000円	71,313,593円	78.3%

事業実績

○令和5年度実績
(1) 新規遊び場の確保

実施場所	東京中華学校（五番町14番地）
実施日時	毎週日曜14時～16時
開始日	令和6年3月24日

(2) 運営実績

場所	実施回数	参加人数	場所	実施回数	参加人数
外濠公園総合グラウンド	31回	418人	芳林公園	31回	360人
和泉公園	82回	1,665人	旧永田町小学校	35回	599人
東郷元帥記念公園下段部分	26回	972人	東京中華学校	2回	22人
小川広場フットサルコート	33回	733人	ふじみこどもひろば	115回	3,005人
旧今川中学校	33回	452人	総計	388回	8,226人

※「ふじみこどもひろば」は、10時と16時30分の参加人数を合計して記載しています。
※「ふじみこどもひろば」の一部は、保育園の代替園庭としても活用しています。

令和7年度実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	当面の目標であった小学校の区域ごとに1か所（計8か所）の遊び場設置は完了していますが、引き続き子どもがいつでも、気軽に、自由な発想で、のびのびと遊べる環境整備に向けて、関係部署と連携しながら、実施場所・日時の拡大を図る必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、新規遊び場の確保や実施日時の拡大を図り、子どもの外遊び環境のさらなる充実に取り組んでいきます。
----------------------------------	--

所管課 子ども部 子育て推進課	決算参考書	156頁	R5予算の概要	43頁
-----------------	-------	------	---------	-----

17 私立保育所等運営補助【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

事業概要	内容	私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、基準数以上の職員を配置した場合や、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等、保育所等の運営に係る経費の補助や処遇改善補助等人材確保に係る経費の補助を行っています。 令和5年度は、保護者と地域の保育園をつなぎ、子育てのつながりを創出するため、私立保育所等の専門性や特性を生かした子どもと一緒に楽しめる人形劇やミニコンサートなどの子育て支援事業を推進します。											
事業費	予算現額		決算額	執行率									
	(1) 私立保育所等運営補助 (認可保育所)	4,183,382,000円	3,725,800,165円	89.1%									
	(2) 私立保育所等運営補助 (認定こども園)	394,788,000	372,563,453円	94.4%									
事業実績	○令和5年度実績 (1) 運営補助の実績 <table><tr><td>種別</td><td>施設数</td><td>定員</td></tr><tr><td>認可保育所</td><td>18</td><td>1,263人</td></tr><tr><td>認定こども園</td><td>1</td><td>134人</td></tr></table> ※定員は、令和6年3月31日時点の数字です。 (2) 子育て支援事業開催に対する補助 (1)のうち、次のとおり子育て支援事業開催に対する補助を実施しました。 ①補助施設数：3園 ②補助事業内容：人形劇、シャボン玉ショー、園見学者を対象にした講座				種別	施設数	定員	認可保育所	18	1,263人	認定こども園	1	134人
種別	施設数	定員											
認可保育所	18	1,263人											
認定こども園	1	134人											
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	就学前の子どもたちが快適で安心して過ごすことができるようにするとともに、保護者に対してもその専門性を生かした子育て支援をより充実することで、保育の質の向上と保育所における地域子育て支援を推進していく必要があります。 令和6年度は、医療的ケア児等の受け入れに係る準備経費や、ICT化に係る経費、保育士の確保に向けた取組みに必要な経費、地域との子育て関係事業に係る経費の助成を行っています。 令和7年度は、令和6年度に実施する子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の結果や、子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、さらなる保育の質の向上と保育所における地域子育て支援の充実を図ります。												

18 病児・病後児保育室整備【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。
（関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画）

事業概要	内容 区は、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、区立保育園等において、病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かる病後児保育を実施しています。 また、病気の回復期に至らず、集団保育を受けることが困難な乳幼児を保育する施設として、病児保育のニーズも高まりを見せています。 そこで令和5年度は、病児と病後児を一体的に受入可能な施設の令和6年度の開設をめざし、民間事業者の協力を得ながら施設整備に取り組んでいきます。				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	92,190,000円	5,070,000円	5.5%		
事業実績	○令和5年度実績 病児保育（急性期）だけでなく、病後児保育（回復期）も一体的に実施できる病児保育施設の開設準備を行い、クリニック併設型の病児保育施設を整備しました。 ■施設概要				
	施設名	のびすこキッズケア （一番町4番地16（地番）プルミエール一番町1階）			
	対象	生後6か月～就学前の病気の幼児で、千代田区の病児・病後児保育利用登録が済んでいる方			
	定員	3名			
	対象疾患、受入可能な状態	病気の回復期に至っていないが、医療機関に入院する必要がなく、症状の急変が生ずるおそれのない状態 ※麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症にかかっている方は利用できません。			
	※新規整備や改築ではなく、既存の建物を改修して病児保育室を整備したため、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度 令和7年度予算への対応	本事業は、病児保育室が開設したため、令和5年度で完了しました。 今後は、令和6年度に策定する子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、展開を検討します。				
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	160頁	R5予算の概要	44頁

19 公立・私立園の連携強化【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

事業概要	内容 区は、保育の質の向上を図るため、区内の保育施設関係者を対象に、大学教授等を講師に迎えた講習会や研修会のほか、保育施設内において現場研修を実施しています。 令和5年度は、多くの保育施設関係者が、時間や場所を問わず多彩なテーマの研修を受講することができるよう、保育・教育関連企業と連携して、映像研修を新たに導入します。より多くの保育士が、様々な段階に応じた保育技術や知識を深めていくことで、保育現場で働く職員の専門性と資質向上を図り、より質の高い保育の提供につなげていきます。																															
事業費	予算現額	決算額	執行率																													
	9,375,000円	3,252,170円	34.7%																													
事業実績	○令和5年度実績 多様性に応じた子どもへの支援について重点的に取り組む必要があることから、インクルーシブ教育の実践を目的とした発達支援に関する区独自の研修動画を制作しました。加えて、保育・教育関連企業が独自に制作した保育に関する研修動画を区内保育施設に対して配信システムで提供しました。																															
	■配信動画概要 <table><tr><th>分野</th><th>動画数</th></tr><tr><td>乳児保育</td><td>33本</td></tr><tr><td>幼児保育</td><td>38本</td></tr><tr><td>障害児保育</td><td>44本</td></tr><tr><td>食育・アレルギー対応</td><td>34本</td></tr><tr><td>保健衛生・安全対策</td><td>37本</td></tr><tr><td>保護者支援・子育て支援</td><td>34本</td></tr><tr><td>マネジメント</td><td>42本</td></tr><tr><td>保育実践</td><td>44本</td></tr><tr><td>社会人力</td><td>19本</td></tr><tr><td>園探検</td><td>2本</td></tr><tr><td>給食・看護等</td><td>6本</td></tr><tr><td>経営者・施設長の学び</td><td>13本</td></tr><tr><td>インタビューシリーズ</td><td>8本</td></tr><tr><td>合計</td><td>354本</td></tr></table> ※保育施設従事者向け研修動画の制作及び配信業務の契約差金により、執行率が低くなりました。			分野	動画数	乳児保育	33本	幼児保育	38本	障害児保育	44本	食育・アレルギー対応	34本	保健衛生・安全対策	37本	保護者支援・子育て支援	34本	マネジメント	42本	保育実践	44本	社会人力	19本	園探検	2本	給食・看護等	6本	経営者・施設長の学び	13本	インタビューシリーズ	8本	合計
分野	動画数																															
乳児保育	33本																															
幼児保育	38本																															
障害児保育	44本																															
食育・アレルギー対応	34本																															
保健衛生・安全対策	37本																															
保護者支援・子育て支援	34本																															
マネジメント	42本																															
保育実践	44本																															
社会人力	19本																															
園探検	2本																															
給食・看護等	6本																															
経営者・施設長の学び	13本																															
インタビューシリーズ	8本																															
合計	354本																															
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	多様化する保育ニーズや園児への対応等について、区内保育施設で共有するとともに、保育士が学ぶ機会を確保することで、保育の質を向上させていく必要があります。 令和6年度は、令和5年度に策定した就学前プログラムを推進するための新たな動画を制作し、保育・教育の充実と保育園・幼稚園・小学校の滑らかな接続を図っていきます。また、保育施設へアンケート調査を行い、現場ニーズや保育をめぐる社会情勢の動向などを踏まえた配信動画のテーマ選定を行っていきます。 令和7年度は、研修動画の内容を保育士研修計画にも反映させ、保育士がスキルを向上しやすい環境づくりを行っていくことで、保育の質の向上につなげていきます。																															

所管課 子ども部 子ども支援課

決算参考書

160頁

R5予算の概要

44頁

20 区内保育施設利用におけるおむつ等支援事業【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

事業概要	内容	子育て支援を推進するため、区内保育施設においておむつや手口拭き等を用意することで、保護者がゆとりをもって子どもと過ごす時間を確保できるようにするとともに、保護者の通園に係る負担を軽減します。								
事業費	予算現額	決算額		執行率						
	20,909,000円	15,048,560円		72.0%						
事業実績	○令和5年度実績 令和6年1月から、区内保育施設全園で紙おむつ・手口拭き・おしり拭き・使い捨て紙エプロンを用意しました。 <table><tr><td>実施時期</td><td>令和6年1月～3月</td></tr><tr><td>導入園数</td><td>44園</td></tr><tr><td>対象園児数※</td><td>1,186名</td></tr></table> ※区内の認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、事業所内保育事業、幼保一体施設内保育園、認証保育所、区補助対象保育室、区緊急保育施設に通う0歳児～2歳児クラスの園児の実施時期における1日あたり平均人数です。				実施時期	令和6年1月～3月	導入園数	44園	対象園児数※	1,186名
実施時期	令和6年1月～3月									
導入園数	44園									
対象園児数※	1,186名									
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度取組状況への対応 令和7年度予算への対応	保護者が通園の際に準備しなければならないものが減ることで、保護者の通園に係る負担を軽減することができました。また、保育士がおむつ等を園児ごとに管理する必要がなくなり、保育士の負担軽減にも寄与しました。 令和6年度は、本事業を引き続き実施するとともに、事業の効果検証を行うため、区内保育施設及び保護者に対してアンケート調査を行います。 令和7年度は、効果検証結果を踏まえ、必要な見直しを行いながら事業を実施し、保護者の負担軽減を図っていきます。									

所管課 子ども部 子ども支援課	決算参考書	160頁	R5予算の概要	-
-----------------	-------	------	---------	---

21 学童クラブ・児童館関連事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

子育て世帯の様々なニーズに応えるため、子育て支援の充実と子育て環境の整備に取り組むとともに、保育等サービスの質の向上を図る。

（関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画）

事業概要	内容	区は、保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、民間事業者が運営する学童クラブ事業や拡大型を含む一時預かり保育事業等の運営支援を行い、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。 令和5年度は、障害児の受入れにあたり、より手厚い人員配置ができるよう運営事業者に対する補助を拡充するとともに、医療的ケア児等の受入体制を強化するため看護師等の配置に対する補助を新設し、子どもたちが障害等の有無に関わらず安心して過ごせる環境を整備します。 また、児童館において、日曜開放を新たに2施設で実施することに加え、中高生等の活動環境の向上を図るためWi-Fi環境を整備するなど、0歳から18歳までの子どもたちの健全な居場所を提供し、健やかな成長を支援します。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 中高生等の居場所づくり	1,035,000円	325,534円	31.5%
	(2) いずみこどもプラザ運営補助	96,035,000円	86,713,000円	90.3%
	(3) 富士見わんぱくひろば事業運営	109,723,000円	94,129,393円	85.8%
	(4) 学校内学童クラブ	222,006,000円	201,545,500円	90.8%
	(5) 私立学童クラブ運営補助	576,413,000円	543,963,563円	94.4%
事業実績	○令和5年度実績 (1) 学童クラブの看護師等配置加算経費補助 医療的ケア児等が在籍するクラブに対して、看護師等の配置に係る経費を補助しました（交付実績：1施設、4,800,000円）。 (2) 児童館事業等の拡充 ①日曜開放 新たにいずみこどもプラザと富士見わんぱくひろばの2施設で日曜開放を実施しました。 ②中高生タイム 各児童館・児童センターに中高生タイム用のWi-Fi環境を整備しました。 ※「中高生等の居場所づくり」事業については、西神田児童センターで実施している障害児放課後居場所事業の利用実績がなかったため、執行率が低くなりました。			
	実績を踏まえた評価・課題 令和6年度の取組状況 令和7年度予算への対応 すべての子どもたちが、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持つことができるように、児童館等の中高生タイムや日曜開放等により、児童の居場所づくりを推進していくことが重要です。また、保護者の就労等を支援する学童クラブ等においては、需要が増加傾向にあるため、受入体制の確保が課題となっています。 令和6年度は、新たに私立学童クラブを誘致し、学童クラブの待機児童ゼロを堅持するとともに、学童クラブを必要とする全ての保護者の就労支援を図ります。 令和7年度は引き続き、運営事業者との相互協力の下、充実した児童・生徒の居場所づくりの推進と保護者の就労支援に取り組めます。			

22 重症心身障害児等支援事業【拡充・補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様性を認めあうとともに、一人ひとりの状況に応じた保育・教育環境の整備と支援体制の充実を図る。

（関連する主な分野別計画：第2期障害児福祉計画（千代田区障害福祉プラン））

事業概要	内容	重度障害児や医療的ケア児を含めた障害児等が利用する通所施設の需要は増加傾向にあり、身近な地域において、安心して療育を受けられる体制を整備することは喫緊の課題となっています。
		そこで令和5年度は、区内における重度・重症心身障害児及び医療的ケア児等を対象とした児童発達支援・放課後等デイサービスの利用定員の拡大を図るとともに、安定した運営ができるよう、運営事業者への支援を行います。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	132,830,000円	118,028,780円	88.9%

事業実績

○令和5年度実績
(1) 開設等経費補助
重症心身障害児等を受け入れる児童発達支援・放課後等デイサービス事業所が、定員を20名から30名に拡大するにあたり必要な経費の補助を行いました。
(2) 運営費補助
人件費、利用者の送迎に係る費用、賃借料、保険料等の一部について、定員拡大分を加え、補助を行いました。

	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	児童 発達支援	放課後等デ イサービス	児童 発達支援	放課後等デ イサービス	児童 発達支援	放課後等デ イサービス
登録児童数	19人	77人	10人	65人	11人	52人
(うち身体障害1・2級)	4(1)人	9(1)人	2(1)人	7(1)人	1(1)人	6(1)人
(うち知的障害1・2度)	0人	11人	1人	11人	1(1)人	10人
年間利用延べ人数	305人	7,410人	309人	6,271人	286人	5,893人
年間利用人数(合計)	7,715人		6,580人		6,179人	

※カッコ内の数字は医療的ケア児の内数です。

年間利用延べ人数

305人 7,410人 309人 6,271人 286人 5,893人

年間利用人数（合計） 7,715人 6,580人 6,179人

※かっこ内の数字は医療的ケア児の内数です。

令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	定員の拡大により、キャンセル待ちの利用希望者が利用可能となるとともに、新規の利用希望者の受入れをスムーズに行うことができました。しかし、利用希望者は増加傾向にあるため、今後も需要に応えられるよう、受入体制を確保していくことが課題です。
	令和6年度	令和7年度は、令和6年度に引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえ、事業者と連携し、補助内容も含め体制確保に必要な検討を行い、重症心身障害児等の支援を図ります。

所管課 子ども部 児童・家庭支援センター	決算参考書	164頁	R5予算の概要	52頁
----------------------	-------	------	---------	-----

23 障害児医療ステイ【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等				
お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。				
将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）				
多様性を認めあうとともに、一人ひとりの状況に応じた保育・教育環境の整備と支援体制の充実を図る。 （関連する主な分野別計画：第2期障害児福祉計画（千代田区障害福祉プラン））				
事業概要	内容	医療的ケアを必要とする子どもの保護者や家族は、急な用事や疾患、冠婚葬祭などの事情により在宅での子どもの養育が一時的に困難になった際、預け入れできる施設が数少ないことから、大きな不安を抱えています。 そこで令和5年度は、区内医療機関と協定を結び、医療的ケア児が医療機関においてショートステイを利用できる体制を整備するとともに、区が利用日数分の個室等の借上げ費用を負担することで、保護者の不安と経済的負担の軽減を図ります。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	2,828,000円		0円	0.0%
事業実績	○令和5年度実績 当初は事業を実施する医療機関において個室ベッドを借り上げての運営を予定していましたが、事業実施に向けた医療機関との協議を進める中で、医療機関で医療的ケア児を受け入れるにあたっては、医療機器や消耗品、追加的な人材配置などの環境整備に係る課題への対応が必要となったことから、医療機関との検討を進めました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応 令和7年度予算への対応	医療的ケア児の保護者の不安と経済的負担を軽減するため、事業実施に向けて関係機関と調整を進めていく必要があります。 令和6年度は、事業実施に向けて協定の締結や関係規定を整備し、医療的ケア児の医療機関での受入体制を整備します。 令和7年度は、利用状況を踏まえ、利用手続きの改善や医療機関における円滑な受入体制の整備等、事業を利用しやすい環境づくりを推進します。			
所管課	子ども部	児童・家庭支援センター	決算参考書	164頁
R5予算の概要			52頁	

24 第3期障害児福祉計画の策定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

多様性を認めあうとともに、一人ひとりの状況に応じた保育・教育環境の整備と支援体制の充実を図る。

（関連する主な分野別計画：第2期障害児福祉計画（千代田区障害福祉プラン））

事業概要	内容	区は、0歳から18歳の障害児や発達に課題のある児童を対象とする「障害児福祉計画」において、障害児通所支援等を提供するための体制の確保やサービスの目標量等を定めています。 令和3年度からスタートした現行の計画が令和5年度に最終年度を迎えることから、アンケート調査や障害福祉サービスの利用状況を基に、令和6年度からの次期計画を策定します。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	1,650,000円	1,571,625円	95.3%
事業実績	○令和5年度実績 児童福祉法に基づく障害児通所支援や障害児相談支援などの障害児福祉サービスの提供体制を確保するための計画を示す障害児福祉計画として、障害者基本法に基づく障害者計画及び障害者総合支援法に基づく障害福祉計画を一体とした、千代田区障害福祉プランを策定しました。 （1）障害者支援協議会及び計画部会の開催 医療関係者・社会福祉団体代表者・障害者福祉団体代表者・就労支援関係者・学識経験者・事業者などで構成される「障害者支援協議会」や計画部会において、千代田区障害福祉プラン（案）作成に向けて、現状把握や課題整理を行いました。 （2）パブリックコメントの実施 令和5年12月20日～令和6年1月10日の期間で実施（意見者数：2名、意見：9件）		
実績を踏まえた評価・課題 令和6年度予算への対応	本事業は、プランを策定したため、令和5年度で完了しました。 今後は、プランに基づき、障害児に対する重層的な地域支援体制の構築や重症心身障害児・医療的ケア児への支援を推進していきます。		

25（仮称）四番町公共施設整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方針（現：将来像に向けた方向性と取組み）

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現するため、より良い教育・保育環境の確保・整備を推進する。

事業概要	内容	四番町保育園・児童館等施設は、隣接する四番町図書館・四番町アパート等も含めた一体的な施設整備を行っています。 新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。 令和8年度の竣工に向けて、令和5年度も引き続き周辺地域に十分配慮しながら、既存施設の解体・新築工事を進めていきます。 ※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含む合計額です。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 工事費	1,298,000,000円	1,298,000,000円	100.0%
	(2) 工事監理委託料	32,000,000円	32,000,000円	100.0%
	(3) 事務費	6,174,000円	634,130円	10.3%
事業実績	○令和5年度実績 令和4年度に引き続き、地下解体工事を実施したほか、新築工事に着手しました。 ※事務費については、計画変更、免震性能評価を実施しましたが、軽微な変更のみであり、必要な手数料が少なかったため、執行率が低くなりました。			
	■整備スケジュール			
	令和6年度	解体・新築工事		
	令和7年度～8年度	新築工事		
	令和8年度	竣工（予定）		
令和7年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和6年度は、令和5年度に引き続き、地下解体工事及び新築工事を実施します。なお、地下解体工事は夏頃までの完了を予定しています。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、新築工事を実施し、令和8年度の竣工をめざします。			